

# 平成28年度岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議

日 時：平成28年8月22日（月）14時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階第3会議室

## 次 第

### 1 開会 あいさつ

### 2 資料説明及び意見交換

- ・岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る  
検証（案）について
- ・平成27年度に実施した国の地方創生先行型交付金活用事業の  
実施結果に係る検証（案）について

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)		
									事業等の見直し方針	見直しの理由等	
1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する	数値目標	1	市内就業者数	365,414人(H24)	362,044人(H25)	373,000人	—	—	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要であり、現時点では目標値の見直しは行わない。	
		2	市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合	10.7%(H24)	H30.7更新予定	21%	—	—	—	現時点では実績値の把握ができないため、目標値の見直しは行わない。	
	(1)新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興	①地場産業の育成・強化 ②地域資源を活かした戦略的な産業の創出・育成	3	製造業総生産	3,662億円(H24)	3,208億円(H25)	3,919億円	①地場産業振興事業 ②技術向上促進事業 ③商業団体等助成事業 ④商工業近代化指導事業 ⑤中小企業経営診断事業 ⑥中小企業融資制度資金貸付事業 ⑦ヘルスケア産業創出・育成事業	①見本市出展補助(56社)等 ②大規模展示会への共同出展(6社)等 ③経営改善普及事業(1商工会議所、4商工会への補助) ④設備投資補助(20社)等 ⑤融資・経営相談会(33回)等 ⑥新規融資(1,116件)等 ⑦創出・育成セミナー実施(1回)、企業意識アンケート調査実施(1回)	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
			4	卸売・小売業総生産	4,309億円(H24)	4,226億円(H25)	4,716億円	①商業振興事業 ②商店街振興事業 ③商業団体等助成事業 ④商工業近代化指導事業 ⑤中小企業経営診断事業 ⑥中小企業融資制度資金貸付事業 ⑦ヘルスケア産業創出・育成事業	①空店舗対策(3件)等補助や通行量等調査事業の実施等 ②商店会連合会の行う顧客誘致事業(ええじゃないか)等の共催 ③経営改善普及事業(1商工会議所、4商工会への補助) ④設備投資補助(20社)等 ⑤融資・経営相談会(33回)等 ⑥新規融資(1,116件)等 ⑦創出・育成セミナー実施(1回)、企業意識アンケート調査実施(1回)	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
			5	サービス業総生産	5,975億円(H24)	5,969億円(H25)	6,509億円	①商業団体等助成事業 ②商工業近代化指導事業 ③中小企業経営診断事業 ④中小企業融資制度資金貸付事業 ⑤ヘルスケア産業創出・育成事業	①経営改善普及事業(1商工会議所、4商工会への補助) ②設備投資補助(20社)等 ③融資・経営相談会(33回)等 ④新規融資(1,116件)等 ⑤創出・育成セミナー実施(1回)、企業意識アンケート調査実施(1回)	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
			6	商店街歩行者通行量(休日)	5,283人(H26)	5,605人(H28.3)	5,700人	①商業振興事業 ②商店街振興事業 ③商業団体等助成事業 ④商工業近代化指導事業 ⑤中小企業経営診断事業 ⑥中小企業融資制度資金貸付事業	①空店舗対策(3件)等補助や通行量等調査事業の実施等 ②商店会連合会の行う顧客誘致事業(ええじゃないか)等の共催 ③商店会連合会が行う販売促進事業等への補助 ④設備投資補助(20社)等 ⑤融資・経営相談会(33回)等 ⑥新規融資(1,116件)等	—	事業の成果が当該指標に反映するには一定の期間等を要するため、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
				商店街歩行者通行量(平日)	4,113人(H26)	4,058人(H28.3)	4,400人				
			7	開業率	5.4%(H26)	5.5%(H27)	6.4%	①商業団体等助成事業 ②商工業近代化指導事業 ③中小企業経営診断事業	①経営改善普及事業(1商工会議所、4商工会への補助) ②創業補助(32社)等 ③融資・経営相談会(33回)等	—	事業の成果が当該指標に反映するには一定の期間等を要するため、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
			8	市内就業者数【再掲】	365,414人(H24)	362,044人(H25)	373,000人	①雇用対策等事業 ②勤労者サポートプラザ事業	①合同企業説明会の実施(2回、256人参加) ・UJタウンを意識した合同企業説明会の実施(343人参加) ・求人・企業情報開拓事業(23社の情報を市内大学へ提供) ・マザーズハローワーク出張相談の実施(6回、90人参加) ②市内中小企業の福利厚生事業を行う勤労者サポートプラザへの補助	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)	
									事業等の見直し方針	見直しの理由等
(2)歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進	③拠点性を活かした企業と人の集積	9	企業立地件数	—	6件(H27)	5年間で33件	①企業立地推進事業 ②空港南産業団地整備事業	①工場、本社・中四国支店・本社機能等の企業立地の取組 ②県と共同で企業誘致の受け皿として産業団地を整備	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		10	新規常用雇用者数	—	85人(H27)	5年間で250人	①企業立地推進事業 ②空港南産業団地整備事業 ③雇用対策事業	①工場、本社・中四国支店・本社機能等の企業立地の取組 ②県と共同で企業誘致の受け皿として産業団地を整備 ③合同企業説明会の実施(2回、256人参加)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		11	市内就業者数【再掲】	365,414人(H24)	362,044人(H25)	373,000人	雇用対策等事業	U/Iターンを意識した合同企業説明会の実施(343人参加)	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
	①観光の振興と情報発信力の強化	12	観光入込客数	583.7万人(H26)	H28.9更新予定	604万人	①おかやま観光情報発信事業 ②観光施設整備事業 ③観光宣伝事業 ④岡山まつり開催事業	①観光情報サイトの整備及び岡山ビジットアソシエーションによる国内外への誘客促進事業実施 ②各種観光施設整備(トイレ改修2件) ・立て看板、維持管理による観光客の受入体制整備 ③岡山城・後楽園の連携を初め、各種観光協議会と連携し情報発信・観光宣伝実施 ④夏のおかやま桃太郎まつりの開催(来場者数50万人) ・納涼花火の実施(来場者数30万人)	(目標値) 863.5万人	近年の外国人観光客の急増と、平成26年度から岡山後楽園と岡山城の連携事業(岡山幻想庭園と烏城灯源郷など)が実施され、国内からの観光客も増加していることから、目標値の見直しを行う。
		13	実宿泊者数	115.9万人(H26)	130.7万人(H27)	121万人	①おかやま観光情報発信事業 ②観光施設整備事業 ③観光宣伝事業 ④岡山まつり開催事業	①おかやま観光情報発信事業 ②観光施設整備事業 ③観光宣伝事業 ④岡山まつり開催事業	(目標値) 172.7万人	近年の外国人観光客の急増と国内からの観光客の増加により、目標値の見直しを行う。
		14	岡山歴史のまちしるべ設置数	—	35か所(H27)	80か所	中心市街地活性化事務費	歴史由来等まちの歴史説明看板の設置	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
	②外国人観光客誘客と受け入れ体制の整備	15	外国人観光客宿泊者数	38,301人(H26)	69,090人(H27)	46,000人	①おかやま観光情報発信事業 ②国際観光振興事業	①台湾・韓国・中国・香港・タイ・シンガポールへのプロモーション ②団体観光客宿泊助成、JNTO、VJ事業との連携、外国語版観光パンフレットの作成	(目標値) 209,000人 (新規事業の追加) 岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業	平成27年の外国人観光客は1,973万人を超え、伸び率も前年比47.1%と大幅に増加している。また、県内においても、平成27年の外国人宿泊者数が過去最高の162,344人となり、前年度を約5万人も上回るなど、今後も外国人観光客の大幅増が見込まれることから、その傾向を勘案し、目標値の見直しを行う。
	③コンベンション誘致の推進	16	コンベンション参加者数	166,968人(H26)	152,296人(H27)	173,000人	コンベンション誘致対策事業	・コンベンションの誘致・開催支援等の実施	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		17	国際会議開催件数	37件(H26)	33件(H27)	44件	コンベンション誘致対策事業	・コンベンション開催件数(260件)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
	④「岡山芸術交流Okayama Art Summit」の開催	18	岡山芸術交流Okayama Art Summit来場者数	117,000人(H26)	H29.4更新予定	170,000人	芸術文化まちづくり推進事業	PRのためのシンポジウム開催(1回)	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)		
									事業等の見直し方針	見直しの理由等	
(3)活力ある農業の振興	①新たな担い手の確保・育成	19	新規就農者数	22人(H26)	27人(H27)	毎年40人	①担い手育成対策事業 ②岡山ブランド農産物育成事業	①移住・定住者の新規就農促進、若手農業者モデル経営体の登録、担い手への規模拡大奨励金の給付等 ②「アグリフードEXPO」への岡山市ブースの設置※(出展補助)(2回)	—	平成28年度より新規施策を実施しており、現時点では効果を計るまでの実績値となっていないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
			20	担い手への農地集積率	22.7%(H26)	25.70%(H27)	35%	担い手育成対策事業	移住・定住者の新規就農促進、若手農業者モデル経営体の登録、担い手への規模拡大奨励金の給付等	—	平成28年度より新規施策を実施しており、現時点では効果を計るまでの実績値となっていないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		②地産地消の推進と農村コミュニティの再生・強化	21	岡山産の野菜・果物の購入を意識している市民の割合	56.4%(H27)	H30.3更新予定	65%	地産地消推進事業	地産地消バスツアー実施(4回)	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			22	多面的機能制度取組面積	1,505ha(H26)	2,609ha(H27)	6,000ha	多面的機能支払交付金事業	水路の泥上げ等の地域活動に対する支援、地域おこし協力隊の活用検討等	—	目標達成に向け、概ね順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
	(4)地域の活力を担う人材の育成・確保	①多様な人材が活躍できる環境づくり	23	生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者の人数	61人(H27)	95人(H28.6)	540人	生涯現役社会づくりの推進	生涯現役応援センターの設置等	新規指標の追加	施策の効果を測定するため、新規に指標を設定する。
				24	社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者の人数	—	H29.4更新予定	毎年5人	発達障害者支援センター事業	発達障害のある方の社会参加プログラムを実施(平成28年度からライフスキルトレーニング、ソーシャルスキルトレーニング、企業向けセミナー等の事業を開始)	—
			25	岡山市役所の管理職に占める女性の割合	6.5%(H26)	9.5%(H28.4)	13%	女性が輝くまちづくり事業	女性職員向け研修の実施(3回)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		②グローバル人材の育成	26	生徒の英語力(中学校3年生)実施状況調査で英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数の割合	29.2%(H26)	39.6%(H27)	60%	英語教育推進事業	・外国語指導助手の配置(30名) ・指定校公開授業研究会実施(3回)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
2 岡山市への新しいひとの流れをつくる	数値目標	27	転入超過者数	700人(H26)	1,355人(H27)	1,000人	—	—	—	本市の社会動態は、過去の実績値に基づく限り、各年における変動が激しいことから、当分の間、当該目標値を維持することとし、事業及び目標値の見直しは行わない。	

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等		指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)	
										事業等の見直し方針	見直しの理由等
	(1)移住・定住の促進	①相談窓口の設置	28	サテライト移住相談窓口相談件数	—	H29.4更新予定	375件	移住定住促進事業	・移住アドバイザーの実務研修実施(本庁での相談対応随時、東京での移住相談会1回、大阪での接遇研修、市内回遊による現地確認3回)など ・メールマガジンやダイレクトメールによる東京窓口新設にかかる情報発信(各1回) ※メールマガジン配信件数は約1,300件、ダイレクトメール配送件数は約300件	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		②UIJターン支援	29	市内就業者数【再掲】	365,414人(H24)	362,044人(H25)	373,000人	①雇用対策等事業 ②担い手育成対策事業 ③移住定住促進事業	①UIJターンを意識した合同企業説明会の実施(343人参加) ②移住・定住者の新規就業促進、若手農業者モデル経営体の登録、担い手への規模拡大奨励金の給付等 ③UIJターン希望者の就職・転職活動支援事業(面接交通費助成)実施(7人、8件の助成支援) ・UIJターン希望者のためのお試し住宅利用事業実施(14件の助成支援)	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
	(3)地元大学等との連携	①大学等との連携による人材確保	30	市内就業者数【再掲】	365,414人(H24)	362,044人(H25)	373,000人	雇用対策等事業	・合同企業説明会実施(2回、256人参加) ・求人・企業情報開拓事業 123社の情報を市内大学へ提供	—	当該指標は景気動向等に大きく影響されることから中長期的な検討が必要である。また、個々の事業はそれぞれ一定の成果を上げていると考えており、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	数値目標		31	子育て支援・児童福祉施策の満足度	16.7%(H27)	H30.3更新予定	30%	—	—	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			32	保育所等への入所希望者(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合	88.5%(H27)	91.5%(H28.4)	100%	—	—	—	目標達成に向けて事業を推進しているところであり、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。
			33	放課後児童クラブへの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所出来た児童の割合	87.7%(H27)	98.5%(H28)	100%	—	—	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
(1)保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消	①幼保連携型認定こども園等の整備を推進	34	保育所等の待機児童数	134人(H27.4)	729人(H28.4)	0人	子ども・子育て推進事業費	私立認可保育所の整備(新設3園、増築2園、分園2園)	—	待機児童の定義を見直したことにより現状値が大幅に増加する結果となったが、引き続き待機児童0人を目指し、事業を推進しているところであり、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。	
		35	市立幼保連携型認定こども園移行数	4園(H27.4)	5園(H28.4)	30園	子ども・子育て推進事業費	市立幼保連携型認定こども園への移行に向けた改修(2園)	—	目標達成に向けて事業を推進しているところであり、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。	

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)		
									事業等の見直し方針	見直しの理由等	
		36	私立認定こども園移行数	1園(H27.4)	6園(H28.4)	28園	①子ども・子育て推進事業費 ②私立認定こども園特別補助事業・ 私立幼稚園特別補助事業	①民営化や統合を含めた今後の 在り方の検討 ②私立認定こども園運営に対する 補助(平成28年度から事業開始)	—	目標達成に向けて事業を推進しているところであり、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。	
		37	地域型保育事業利用者数	0人(H27.4)	88人(H28.4)	1251人	子ども・子育て推進事業費	地域型保育事業の運営事業者募集・決定(8事業者)	—	事業の成果が当該指標に反映するには一定の期間等を要するため、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。	
		38	幼稚園教諭免許・保育士資格未 取得者数	0人(H27.4)	0人(H28.4)	0人	保育園指導事務費	幼稚園教諭免許状取得支援 (4人)	—	認定こども園に勤務する保育教諭は平成32 年度以降、幼稚園教諭免許及び保育士資 格の両方を所持する必要があるため、事業 及び目標値の見直しは行わない。	
		39	潜在保育士登録者数	129人(H27.4)	131人(H28.4)	毎年100人	児童福祉行政事務費	認可保育園への就職希望者情報 及び求人情報について、ハロー ワークとの共有	(目標値) 毎年130人	潜在保育士の掘り起しをさらに推し進め、保 育士不足の解消につなげていくため、目標 値の見直しを行い、平成27年度実績を維持 するものとして、目標値を設定した。	
	②放課後 児童クラブ の整備を 推進	40	施設確保が必要な児童クラブ数 (165㎡未満/人)	49施設(H27.4)	44施設(H28.4)	0施設	放課後児童健全育成事業	施設確保のためのプレハブ建設及 び学校教室改修	—	目標達成に向けて事業を推進しているところ であり、現時点では事業及び目標値の見 直しは行わない。	
	(2)結婚・ 出産・子育て 支援	①出会い の場の環 境づくり	41	出会いのひろば事業参加者のうち 結婚報告数	10件(H26)	10件(H27)	延べ15件	こども企画行政事務費	パーティー、料理教室、研修等の開 催(3回開催、140人参加※女性69 人、男性71人)	—	事業の成果が当該指標に反映するには一定 の期間等を要するため、現時点では事業 及び目標値の見直しは行わない。
			42	シルバー世代産前産後応援事業 利用登録者数	80人(H26)	89人(H27)	105人	児童福祉行政事務費	産婦人科や保健所等と連携し、事 業のPR活動を拡充	—	目標達成に向け、順調に推移しているた め、現時点では事業及び目標値の見直しは 行わない。
		②妊娠・出 産・子育て のための 支援	43	ファミリーサポート事業活動件数	8,959件(H26)	8,970件(H27)	10,000件	ファミリーサポート事業費	育児における相互援助活動の推進	—	目標達成に向け、順調に推移しているた め、事業及び目標値の見直しは行わない。
			44	心豊かな岡山っ子応援団賛助団 体員数	9団体(H26)	10団体(H27)	60団体	地域子育て支援行政事務費	構成団体の協力を得て、地域住民 への広報活動を拡充	—	事業の成果が当該指標に反映するには一定 の期間等を要するため、現時点では事業 及び目標値の見直しは行わない。
			45	プレーパーク開所箇所数	常設1か所(H26)	常設1か所(H27) 臨時5か所	常設1か所 臨時8か所	地域子育て支援行政事務費	プレーパーク開所継続性の向上の ためのプレーリーダーの養成	—	目標達成に向け、順調に推移しているた め、事業及び目標値の見直しは行わない。
			46	子育て応援サイト(こそだてほけつ と)年間アクセス件数	1,131,185件(H26)	1,181,063件(H27)	1,200,000件	地域子育て支援行政事務費	継続的な旬のコンテンツの追加 ・民間の子育て支援情報の充実	—	目標達成に向け、順調に推移しているた め、事業及び目標値の見直しは行わない。

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)	
									事業等の見直し方針	見直しの理由等
		47	専門職による子育て世代包括支援センターでの面接・相談件数	—	H29.5更新予定	2,500件	子育て世代包括支援センターの整備	妊娠・出産・育児・乳幼児期を通して一貫した切れ目ない支援を行うための子育て世代包括支援センターの整備 (平成28年度から整備開始)	新規指標の追加	施策の効果を測定するため、新規に指標を設定する。
		48	保育環境整備事業(保育園文書・用品等集配業務)保護者相談・支援対応の実施回数	—	2,239回(H27)	1,200回	保育園運営費	各公立保育園等と本庁間での文書・用品等の集配業務	(目標値) 2,200回	当初、目標値を月あたりの相談・支援対応回数100回程度と見込んでいたところ、保育士の不断の努力により、事業初年度において目標値を大きく超えたため、それを踏まえ目標値の見直しを行うこととする。 なお、目標値は、保育士不足による事務負担が過大となっている現状や保育士の事務負担軽減を勘案し、平成27年度実績値と同程度の対応回数を設定した。

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等		指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)	
										事業等の見直し方針	見直しの理由等
	(3)ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進	①ワーク・ライフ・バランスの推進	49	男性管理職向けセミナーの受講者数	—	65人(H27)	毎年100人	女性が輝くまちづくり事業	男性管理職向けセミナーの実施(2回)	—	事業開始から1年しか経過していないため、今後の実績を踏まえて必要な検討を行う。
			50	男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合	82.4%(H27)	H30.3更新予定	85%	①女性が輝くまちづくり事業 ②地域子育て支援行政事務費	①岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証(19社) ②子育てパパ・プレパパ応援事業の実施	—	事業実施1年という短期間では意識の醸成に係る効果が計れないため、現時点での事業及び目標値の見直しは行わない。
		②一人ひとりの状況や希望に応じた女性への就労支援	51	再就職支援講座受講者のうち、就職に向けて活動した人の割合(受講後半年時点)	79.0%(H26)	H28.9更新予定	毎年80%	女性が輝くまちづくり事業	再就職支援講座の実施(2回)	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
4 安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する	数値目標		52	岡山市に住み続けたいと考える市民の割合	79.2%(H27)	H30.3更新予定	85%	—	—	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			53	安全・安心な地域社会と感じる市民の割合	82.0%(H27)	H30.3更新予定	86%	—	—	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			54	健康寿命の延伸	男性69.0歳 女性72.7歳(H22)	当該指標は厚生労働省の数値をもとに算定されたものであるが、今後は政令市分の算定予定がないため、算定方法を検討中	男性70.8歳 女性74.8歳	—	—	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
(1)コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり	①計画的なまちづくりの推進	55	人口集中地区(DID)の人口密度	59人/ha(H22)	H28.10更新予定	60人/ha(H32)	①立地適正化計画策定事業 ②岡山市空き家適正管理支援事業	①都市構造調査の実施 ②空き家診断・リフォーム・除却への助成	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
		56	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口	365千人(H22)	H28.10更新予定	370千人(H32)	立地適正化計画策定事業	都市構造調査の実施	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
		57	快適でにぎわいのある都市づくりの満足度	20.4%(H27)	H30.3更新予定	23%	立地適正化計画策定事業	都市構造調査の実施	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
	②公共交通の維持・確保	58	主要路線バス利用者数(1日あたり)	30,700人(H25)	31,458人(H26)	30,700人	モビリティマネジメントによる公共交通利用促進事業	小学生対象のバスの乗り方教室の実施(8校)	—	平成25年度から平成26年度にかけて利用者数が微増しているが、方面別にみると増加路線はごく一部であり、減少路線も含めた利用者数の維持を目指すため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
		59	生活交通導入地区数(試験運行開始地区を含む)	—	H29.4更新予定	3地区	新たな公共交通の確保事業	南区灘崎町迫川地区で地元検討組織を設置し、乗合タクシーの導入について検討	新規指標の追加	施策の効果を測定するため、新規に指標を設定する。	



岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点 最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における 主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)			
									事業等の見直し方針	見直しの理由等		
	③商店街の賑わい創出	60	商店街歩行者通行量(休日)【再掲】	5,283人(H26)	5,605人(H28.3)	5,700人	①商店街振興事業 ②商業振興事業	①商店会連合会の行う顧客誘致事業(ええじゃないか)等の共催 ②空店舗対策(3件)等補助や通行量等調査事業の実施等	-	事業の成果が当該指標に反映するには一定の期間等を要するため、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。		
			商店街歩行者通行量(平日)【再掲】	4,113人(H26)	4,058人(H28.3)	4,400人						
		④都心創生まちづくり	61	歴史・文化ゾーン来訪者数	2,818千人(H25)	2,885千人(H26)	3,100千人	都心創生まちづくり構想推進事業	旧内山下小学校を岡山城へのウェルカムゾーンにふさわしい市民・観光客が集い、憩うことのできる環境として、暫定的に賑わいの創出に資する活用を行う事業(ハイコーチャレンジ)の実施	-	平成28年度は旧内山下小学校を賑わいを生み出す場所として活用し、発表の場を別の場所で行う社会実験を実施予定であり、目標値は今年度の結果も踏まえ変更の必要性について検討する予定のため、現時点では目標値の見直しを行わない。	
				62	旧内山下小学校年間訪問者数	13,000人(H26)	17,500人(H27)	15,000人	都心創生まちづくり構想推進事業	旧内山下小学校を岡山城へのウェルカムゾーンにふさわしい市民・観光客が集い、憩うことのできる環境として、暫定的に賑わいの創出に資する活用を行う事業(ハイコーチャレンジ)の実施	-	平成28年度は旧内山下小学校を賑わいを生み出す場所として活用し、発表の場を別の場所で行う社会実験を実施予定であり、目標値は今年度の結果も踏まえ変更の必要性について検討する予定のため、現時点では目標値の見直しを行わない。
				63	岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会の鑑賞者数	46,620人(H26)	47,380人(H27)	50,000人	文化のまちづくり推進事業	・カルチャーゾーン連絡協議会加盟施設(後楽園、美術館等)での演奏(6施設) ・ファジアーノ岡山市民デーでの演奏	-	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		⑤文化芸術施設等を拠点とした文化振興やトップスポーツによる活力の創出	64	おかやま国際音楽祭の来場者数	54,562人(H27)	H29.4更新予定	-	文化のまちづくり推進事業	下石井公園など屋外でのコンサートやホールでの演奏会等を実施(36事業48イベント)	-	現段階では、来年度以降の国際音楽祭の開催について、開催方針が決定されていないため、具体的な開催方針が決定した段階で目標値の設定を行う。	
	65		ファジアーノ岡山のホームで開催される試合の平均入場者数	8,404人(H26)	8,412人(H27)	12,000人	競技スポーツ振興事業	・岡山市民デーの内容充実 ・アラウンド・ザ・日本三名園の実施	-	平成27年度から支援を拡充したところであり、事業の成果が当該指標に反映するには一定の期間等を要するため、現時点では事業及び目標値の見直しは行わない。		
	66		岡山シーガルズのホームで開催される試合の平均入場者数	3,397人(H26)	4,044人(H27)	4,000人	競技スポーツ振興事業	岡山シーガルズの試合で初めて、岡山市民デーを開催	(目標値) 4,500人	平成27年度シーズンの実績は4,044人と、平成31年度シーズンの目標値を超えているため、ジップアリーナ岡山の観客席数などを勘案し、目標値の見直しを行う。		
	(2)地域連携の推進	(2)地域おこし協力隊の活用による地域活性化	67	地域おこし協力隊導入数	-	4人(H28.7)	10人	中山間地域における地域住民活動応援事業	・隊員募集活動として、岡山県主催の地域おこし協力隊説明会(東京)参加(2回) ・総務省外郭団体HPや市HPでの募集実施(2回)	-	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
	(3)健康寿命の延伸	(1)生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり	68	健康寿命の延伸【再掲】	男性69.0歳 女性72.7歳(H22)	当該指標は厚生労働省の数値をもとに算定されたものであるが、今後は政令市分の算定予定がないため、算定方法を検討中	男性70.8歳 女性74.8歳	健康寿命延伸施策の推進	地域ウオーキングマップ(ええとこ発見図)作成(作成地区数 36中学校区)	-	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	

岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に係る検証(案)一覧

基本目標	施策等	指標番号	指標	基準値	H28.7.1時点最新数値	目標値(H31)	掲載事業	平成27年度における主な事業実績等	進捗状況に係る検証(案)		
									事業等の見直し方針	見直しの理由等	
	②医療・介護の強みを生かした地域包括ケアシステムの構築	69	かかりつけ医がいる市民(60歳代～80歳代)の割合	63%(H24)	H28年度中の更新予定	70%	在宅医療・介護の推進	出前講座「在宅医療・介護のすすめ」の開催(59回)	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
		70	認知症サポーター数	28,924人(H27)	H29.4更新予定	45,000人	岡山市版オレンジプランの推進	認知症サポーター養成講座の開催(144回)	新規指標の追加	施策の効果を測定するため、新規に指標を設定する。	
		71	生活・介護支援サポーター養成数	822人(H27)	H29.4更新予定	1,400人	多様な主体による介護予防・生活支援サービスの推進	生活・介護支援サポーター養成講座の開催(6日)	新規指標の追加	施策の効果を測定するため、新規に指標を設定する。	
	(4)安心に暮らせる地域づくり	①市民生活の安全・安心の確保	72	刑法犯認知件数	8,420件(H26)	7,186件(H27)	6,000件	交通安全対策事業・安全安心まちづくり事業	防犯カメラ設置支援事業による助成(52団体、助成台数143台)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			73	自転車の関係する人身交通事故件数	1,110件(H26)	967件(H27)	650件	交通安全対策事業・安全安心まちづくり事業	交通安全教室の実施(996回)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			74	自主防災組織率	60.6%(H26)	61.00%(H27)	70%	自主防災会育成事業	・自主防災会交流会の開催 ・防災まちづくり学校の実施(受講生33人)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		75	最適化目標(施設類型毎)とする総延床面積	1,941,371.28㎡(ハコモノ)(H26)	1,941,654.42㎡(ハコモノ)(H27)	—	公共施設等マネジメント推進事業	・市有施設管理支援システム構築によるハコモノの施設情報一元化 ・公共施設等マネジメントに係るシンポジウムの開催(1回) ・岡山PPP交流広場の開催(4回)	—	公共施設等総合管理計画の策定(H28年度策定予定)に当たり、施設の老朽化や財政負担の増大といった課題に対応するための目標値として適正な規模の延床面積(目標値)を検討している。	
	(5)地域の課題解決のための持続可能な取組	①地域の課題を地域で解決する課題解決型の活躍と組織づくり	76	地域活動への参加割合(そのうち20歳代の参加割合)	39.9%(H27)(17.9%)	H30.3更新予定	50%(30%)	①まちづくり推進事業 ②協働のまちづくり推進事業	①区民が主体的に行う地域課題解決の取組に対して補助金を交付する区づくり推進事業「地域活動部門」の実績事業数(27事業) ②ESD・市民協働推進センターにおける協働事業等についての相談件数(243件)	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
			77	企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数	17学区・地区(H26)	H29.4更新予定	47学区・地区	①まちづくり推進事業 ②協働のまちづくり推進事業	・区づくり推進事業地域活動部門、市民協働推進モデル事業等の支援 ・地域協働フォーラムの開催(1回) ・課題解決ワークショップの開催(2回) ・公民館職員及び地域担当職員の研修会の開催(3回)	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。
		②ESDの推進による地域づくり・人づくり	78	ESD学生インターンシップ経験者の社会貢献活動への参加割合	—	60%(H27)	50%	ESD推進事業	社会貢献活動への参加意欲を高めるインターンシップ事業(2回)	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。
79			ESDインターンシップ協力校	—	4校(H27)	10校	ESD推進事業	大学のインターンシップ担当者や教育学部関係者等に対する協力の呼びかけ	—	目標達成に向け、順調に推移しているため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
80			生物多様性保全に取り組む企業数	2団体(H26)	H29.4更新予定	15団体	いきものいろいろ交流プロジェクト事業	おかも大野ダルマガエル保全プロジェクトの実施	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	
③省エネルギー行動の普及による環境保全活動の推進		81	太陽光発電設備、高効率給湯器など省エネルギー機器の導入によるCO <sub>2</sub> 排出削減効果(年間)	—	H29.4更新予定	47,820t-CO <sub>2</sub>	スマートエネルギー導入促進事業	住宅用太陽光発電システム設置補助(866件)など	—	現時点では実績値の把握ができないため、事業及び目標値の見直しは行わない。	

## 総合戦略の進捗状況に係る検証（案）に対するご意見等について

### 全体を通してのご意見等

意見番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・見直しの理由の中に「現時点では実績値の把握ができないため、目標値の見直しは行わない」という文章が目立つが、平成27年度に行った個別事業の内容がどうだったかという自己評価により課題を抽出し、今後の事業展開に向けた検証を行うべきではないか。</li><li>・景気動向に大きく左右されるため中長期的な検討が必要、とあるが、景気動向がよければ単純に達成できる目標にあまり意味はないのではないか。</li><li>・順調に実績が推移している項目も多く、各事業の効果が出ているものと理解するが、中長期的な検討を要するもの等については、それぞれの事業において年度毎のマイルストーンを設定してはどうか。</li></ul>	<p>総合戦略においては可能な限り成果指標を設定しました。成果指標の性格上、外的要因の影響を受けやすく、一定期間の数値動向の傾向をもって判断せざるを得ません。</p> <p>そのため、活動指標によって検証を補完することなどを検討します。</p>

意見番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
2	<p>実績が好調という理由で目標値を上方修正している項目は事業の効果があつたためなのか、自然体での実績なのかを検証する必要がある。</p>	<p>指標 12・13・15：目標値をクリアした要因は、設置時に想定した以上に伸びたものであり、景気の動向や外国人観光客についてはビザ要件の緩和、円安の進行などが少なからず影響していると考えられます。また、国内はもちろん海外へのプロモーションや商談会への参加等のPR効果によるものもあつたと考えられます。</p> <p>目標値は、世界的な経済情勢の影響等予測できない要因も大きいですが、2020年の東京オリンピックに向けた国のインバウンド戦略にも連動し、また「岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業」による誘客効果等も見込んで見直します。</p> <p>指標 39：潜在保育士の掘り起しをさらに推し進め、保育士不足の解消につなげていくため上方修正します。</p> <p>指標 48：目標値を月あたりの相談・支援対応回数 100 回程度と見込んでいたところ、保育士の努力と子育て相談の増加等により、事業初年度において目標値を大きく超えたため上方修正します。</p> <p>指標 66：岡山シーガルズの入場者数が増加している理由として、岡山シーガルズの独自のPR活動や平成 27 年度に初めて実施した「岡山市民デー」などの事業効果が反映されていると思われます。</p>

意見番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の政令市等との比較に関する資料を参考にすることができれば、効果的な検証に資すると思います。</li> <li>・同規模の都市との比較等があればわかりやすい。</li> </ul>	<p>本検証は目標値に対する進捗状況を検証するものですが、類似都市との比較も政策・施策を検討する上では重要な手段であると認識しており、今後こういった指標について可能であるかを研究します。</p>

## 各掲載事業及び指標に対するご意見等

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
1	1 10 11 27	<p>景気動向に影響されることは間違いないが、地場の中小零細企業に対して、岡山市の政策として正規雇用促進を掲げ、そのための助成や優遇税制の制度を設けることが必要ではないか。</p>	<p>今年度から市内本社企業が本社機能を拡充した場合も人材確保奨励金の対象とし、事務系職種の雇用の創出を図っています。</p> <p>また、本市で実施している各種の合同企業説明会の参加企業については、正規雇用の求人を必須としているほか、企業情報開拓事業においては通常の求人情報に掲載しない企業情報を開拓・提供することにより、情報不足による就職ミスマッチの防止に取り組んでいます。今年度、新たに正規雇用に向け、企業における就業体験の機会を提供する事業に取り組んでおり、今後もこうした事業等により、正規雇用の促進を図っていきたいと考えております。</p>
2	1 10 11 27	<p>教員の非正規率は、対全国、対県内でかなり高いと聞いている。また、岡山市職員の非正規率も年々高くなっており、岡山市が率先して正規率の向上を行うなど正規雇用の促進を行うべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規教員の採用につきましては、年齢構成の平準化や質の担保のためにも、急激に採用数を増やすのではなく、児童生徒数などの推移を見極めながら、安定した採用を行っていきたいと考えております。</li> <li>・岡山市職員（教員除く）については、再任用職員等の活用も行いながら、適切な人員配置に努めます。</li> </ul>

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
3	1 10 11 27	<p>政令市の半数は「給付制奨学金」を創設している。岡山県内では倉敷市も導入しており、国や県任せでなく、岡山市が率先して創設すべき。</p>	<p>現行制度の利用状況を考慮しつつ、国が検討している給付型奨学金の動向も注視しながら、研究してまいります。</p>
4	2 25	<p>岡山市は最新の「岡山市特定事業主行動計画」では、現時点での到達点が8.4%と遅れていることをレポートしている。その上で、平成33年までの到達目標を「14%」に留めている。本当に必要な施策と考えるなら「実績値」の把握もできるはず。まず、岡山市が率先してチャレンジすべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月1日現在の女性管理職比率（課長級以上、教員除く）は、9.5%となっており、前年の8.4%と比べ約1%上昇しております。引き続き女性の登用に努めます。</li> <li>・指標番号2の「市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合」は、総務省の「就業構造基本調査」に基づき、平成24年のデータを基準値としております。</li> </ul> <p>当該調査は、国において5年に1回実施されており、次回は平成29年の予定となっているため、現時点での実績値の把握はできておりません。</p>

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
5	12 13	<p>現段階で目標を大きくクリアしており素晴らしいが、クリアした要因として、目標設定が低かったのか、特殊要因があったのか、どの事業がどのように奏功したのか等の説明を願う。</p>	<p>目標値をクリアした要因は、設置時に想定した以上に伸びたものであり、景気の動向や外国人観光客についてはビザ要件の緩和、円安の進行などが少なからず影響していると考えられます。また、国内はもちろん海外へのプロモーションや商談会への参加等のPR効果によるものもあったと考えられます。</p> <p>目標値は、世界的な経済情勢の影響等予測できない要因も大きいですが、2020年の東京オリンピックに向けた国のインバウンド戦略にも連動し、また「岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業」による誘客効果等も見込んで見直したものです。</p>
6	12 13 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の目標値が大幅に変更されている。大幅増加に対応する受入れ態勢の検証も併せて考慮する必要がある。</li> <li>・宿泊者増加の3分の1を外国人観光客と想定している計画と理解するが、誘致活動と歩調を合わせた宿泊施設の外国人観光客受入体制に係る現状並びに検討の要否等の説明を願う。</li> </ul>	<p>市内宿泊者数は平成25年 1,127,000人、平成26年 1,159,000人、平成27年 1,307,000人と増加しております。その中で、海外からの団体旅行者には2,000円/人での宿泊補助を行っており、この補助件数も平成25年度 42件、平成26年度 93件、平成27年度 110件と活用も増加傾向に推移しています。また、FIT（外国人個人旅行者）に対しては、フェイスブックやブlogger招請、雑誌への記事掲載を今までも行ってきましたが、平成28年度の事業としては、ホームページへの宿泊予約サイトを活用したキャンペーンの委託事業を実施する予定です。これらの事業効果は少なからず外国人観光客宿泊者増へ影響しているといえます。宿泊施設のハード面での体制整備等は適宜施設側の判断によるものと考えております。</p>



意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
7	23	<p>「登録者数」だけでなく、実際に活動に参加した者の数（又は登録者数に占める比率）も指標に加えるべきではないか。</p>	<p>ご指摘の比率も指標となりうるものとして議論をしたところですが、本事業は平成 27 年 9 月に生涯現役応援センターを開設し、事業が開始されて間のない事業であり、まずは、広く当センターを市民の方に周知するとともに、高齢になっても、生涯現役で社会に貢献するという気運を高めていくことに力を入れるべきと考えております。そのため、現時点では「登録者数」を指標としています。</p>

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
8	23 47 59 70 71	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ新規に設定される指標を追加する必要があるのか。</li> <li>・新規追加された指標について、その内容（指標となる基礎データや目標値設定の妥当性や根拠等）の説明を願う。</li> </ul>	<p>目標値等に一定の整理が果たため、新規に指標を設定することとしました。</p> <p>（各指標の基礎データ及び目標値設定の根拠等）</p> <p>指標 23：本事業は、平成 27 年 9 月に生涯現役応援センターを設置して活動を開始し、このたび、センターの活動に関して一定の成果に関するデータを得たことから、目標値の設定を行ったものです。</p> <p>指標 47：「子育て世代包括支援センター」は、平成 28 年度から整備を開始する事業であるため、このたび、支援事業が継続的に把握できるデータとして、相談件数を目標値として設定したものです。</p> <p>指標 59：生活交通は平成 29 年度以降、年度ごとに 1 地区程度導入すると想定して設定したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迫川地区では 11 月を目途に試験運行を開始する予定となっており、指標の 1 地区目となる予定です。</li> <li>・最初の迫川地区では、協議開始から試験運行開始まで 1 年半程度の期間がかかっています。次の地区からは 1 年程度の協議・検討で試験運行開始に到達できる見込みです。</li> <li>・平成 29 年度末まで行う迫川地区での試験運行の結果を</li> </ul>

			<p>検証した後、他の地区へのモデルケースとして展開する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、5つの地区から生活交通導入に向けた問い合わせを受けておりますが、全ての地区が協議を開始できる状況になっている訳ではございません。</li> </ul> <p>指標 70：認知症に関する正しい知識と理解を持ち、手助けできる人が増えていくことが、認知症の早期発見・早期支援、医療や介護の連携や見守りなどの日常生活支援サービスを包括的に提供する体制づくりのための重要な指標であると考え目標値として設定したものです。</p> <p>指標 71：「多様な主体による介護予防・生活支援サービスの推進」にあたっては、地域住民の参加による支え合い活動が重要であることから、その担い手として養成している当サポーターの養成数を目標値として設定したものです。</p>
--	--	--	---

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
9	31 32 34-39	<p>・保育士の抜本賃上げは、安心して働ける環境整備と雇用の創出に繋がる。国の施策（5%＝6000円など）は実態に全く合っておらず、それでは不足だと直視すべきで、直接的かつ抜本的に賃上げできるような助成制度の創設を検討すべき。</p> <p>・私立保育士の賃金や勤続年数、正規率などを実態調査すべき。</p>	<p>保育士の処遇改善対策では、これまでに国の「保育士等処遇改善臨時特例事業」として、平成25年度、平成26年度には、2.85%の賃金改善が行われました。平成27年度からは、この臨時特例事業は廃止されましたが、処遇改善等加算を拡充し、3%の賃金改善を行っております。また、平成26年度及び平成27年度の補正でそれぞれ2%、1.9%の単価アップを図っております。</p> <p>また、市の単独施策として、特別委託料の支出を行っており、人件費にも充てられております。</p> <p>引き続き保育士の処遇改善に努めてまいりたいと考えております。</p>
10	47	<p>「子育て世代包括支援センター」の設置箇所数も指標に加えるべきではないか。1箇所だけでなく、より身近なところで利用できるよう考えられるのではないか。</p>	<p>「子育て世代包括支援センター」は市内全域の妊産婦に関する情報集約と、助産師等専門職による妊娠期から産後に特化した相談支援を目的に設置したものです。より身近な相談場所として従来から市内6か所の保健センターにおいて保健師による妊産婦に対する相談支援を実施しております。</p>

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
11	—	<p>【関連施策：基本目標 1－（4）－①】</p> <p>「多様な人材が活躍できる環境づくり」に関して、障害者（身体・知的・精神）の「雇用（就職）の促進」に関する指標を加えるべきではないか。現在は、発達障害者の就職者数だけが指標（24）とされている。</p>	<p>障害者（身体・知的・精神）の雇用促進は多様な人材の活躍という観点から重要な施策であり、これまでどおり推進していく必要があると考えておりますが、本総合戦略の指標の設定に当たっては、地方創生の観点から新たな事業展開として、指標の 24 を設定しているところです。</p>
12	—	<p>【関連施策：基本目標 3－（2）－②】</p> <p>「子育てしやすいまちづくり」を進めるため、公共施設でベビーカーを利用し易いよう、バリアを減らす配慮をすべきではないか。また、公共施設に「授乳コーナー」等を出来るだけ設けるようにしてはどうか。</p>	<p>岡山市では、授乳やおむつ交換が気軽にできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、施設情報を岡山市のホームページ等で紹介する「赤ちゃんの駅設置推進事業」を実施し周知に努めているところです。</p>

意見番号	指標番号	「進捗状況に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
13	—	<p>【関連施策：基本目標 4－（1）－①】</p> <p>市街化調整区域で「空家」を家主から借りてグループホームを運営できるようにすべきではないか。</p>	<p>障害者用共同生活援助施設（グループホーム）は、都市計画法第 34 条第 14 号開発審査会附議案件であり、自己所有が必須条件となります。</p> <p>なお、市内に多く存在する空家等の対策が喫緊の課題である中、市街化調整区域内の空家等の有効活用について、どのような基準で活用できるのか、どのように地域活性化につなげていけるのかなど、検討を進めているところです。</p>
14	—	<p>【関連施策：基本目標 4－（4）－①】</p> <p>災害時に「福祉避難所」の利用が予想される方（災害弱者）の名簿を町内会において予め作成し、受け入れ避難所について事前に調整しておくべきではないか。</p>	<p>岡山市では、平成 27 年度から、要配慮者のうち特に避難支援等が必要な方を対象に「避難行動要支援者名簿」を作成し、地域の避難支援等関係者等にお渡ししています。</p> <p>また、福祉避難所については、福祉的配慮が必要な高齢者や障害者などを受け入れるために二次的に開設し、受け入れ施設と調整したうえで、対象者を移送することになっています。</p>

## その他のご意見等

意見番号	ご意見等の概要
1	<p>子どもの貧困対策を掲げるべき。今回の指標には該当箇所が見当たらない。</p> <p>今の日本では、子どもの貧困が、構造的、政策的に生成されている自治体行政は持っている情報と包括的な調査、分析により、岡山市における実態と要因を把握することが必要。</p>
2	<p>「国民健康保険」制度に市民の声と監視の視点が保障される「被保険者委員の公募制」は政令市の半数が導入しており、議事録の公開と合わせて早急に達成すべきではないか。</p>

**H28年8月22日開催**  
**岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議**  
**検証用資料**

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の実施結果に係る検証(案)一覧  
 (平成27年度に実施した国の地方創生先行型交付金活用事業)

事業番号	① 交付対象事業の名称	② 交付対象事業の概要	③ 交付対象経費(実績)	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
					指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
					指標①	指標②							
1	岡山市総合戦略策定事業	福祉と医療と教育、そして交通の要衝という岡山の特性を踏まえ、良質な雇用の創出と人口減少の加速による地域の活性化という好循環を生み出す「岡山市総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	専門的調査の実施経費 ・学生を対象とした就職先等の意識調査の実施経費 ・市民を対象とした子育て等に係る意識調査の実施経費 総合戦略案に関する意見集約に関する事業経費 ・外部有識者を含む総合戦略検討会の運営費	9,310,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤						地方創生に効果があった (H27年10月、岡山市まち・ひと・しごと総合戦略策定)	—	「岡山市まち・ひと・しごと総合戦略」では、創生市民会議による検証も実施しながら、必要に応じて施策や事業の追加、見直し等を行い、本総合戦略の改訂を行っていく。
2	情報発信支援事業 【産業振興・雇用推進課】	市内中小企業は、優れた技術・製品・商品等を持ちながら、海外や県外に販路を開拓するには人員や資金に余裕がなく、新規取引先の開拓に苦慮している。そこで、インターネットを活用した全国、海外への販路開拓を支援することで、業績アップ、経営安定・改善、雇用の確保・拡大などを図る。店舗サービス・販売事業者の中には、売上が減少したり、伸び悩んでいる事業者もあるが、人員や資金など様々な要因で、新規の顧客獲得に積極的に取り組めていない。そのような事業者には、ネットを利用した宣伝広告や販売による販路開拓を支援することで、業績アップ、経営安定・改善、雇用の確保・拡大などを図る。	インターネット動画を活用した販路開拓のセミナー開催経費 インターネット動画を活用した販路開拓に取り組み中小企業に対し、動画制作費及び販売促進費等にかかる経費 ・ホームページを作成し、ネットで宣伝広告や販売を行う事業者に対し、ホームページ制作費とネット宣伝広告・販売に関するコンサルティング費に対する経費	11,888,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	インターネット動画製作者数 32 社	H28.3	14	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	今後は、補助することで、より効果が見込める企業を選定するために、事業計画の審査を外部の専門家に委託することや、補助内容・補助金額・補助件数の見直しを検討する。		
3	中小企業創業者支援事業 【産業振興・雇用推進課】	創業塾等ですっかり学んだ創業希望者であっても、創業時には多大な資金が必要なことから、創業を断念したり、創業しても継続できず廃業する創業者がいる。そこで、創業者の初期投資の負担を支援することにより、創業時の安定した経営を支援し創業への意欲を高め、創業者の増加を図る。	岡山市と共に産業競争力強化法の規定に基づく創業支援事業計画に係る認定を受けた支援団体により、当該計画の中の「特定創業支援事業」【※1】の支援を受けて創業者に対する創業開設経費	11,485,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	創業者数 50 件	H28.3	32	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	今後は、補助することで、より効果が見込める創業者を選定するために、事業計画の審査を外部の専門家に委託することや、補助内容・補助金額・補助件数の見直しを検討する。		
4	中小企業経営改革支援事業 【産業振興・雇用推進課】	市内中小企業は、業績が安定せず現状を変えたいと思っているが、人材・資金面で踏み出せない企業がある。中小企業診断士による経営改革計画書の作成と、計画書に沿って経営改革に取り組む費用を支援することで、業績アップ、経営安定・改善、雇用の確保・拡大などを図る。	中小企業診断士による経営改革計画書を作成、及び経営コンサルティング費用 ・作成された経営改革計画書に沿って経営改革に要する設備投資費や店舗改装費等の経費	41,200,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	経営改革計画書を作成し経営改革に取り組んだ企業数 10 社	H28.3	20	地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	今後は、補助することで、より効果が見込める企業を選定するために、事業計画の審査を外部の専門家に委託することや、補助内容・補助件数の見直しを検討する。		
5	販路開拓・ハンズオン支援事業 【産業振興・雇用推進課】	市内中小企業は、優れた技術力や製品開発力を持ちながら、営業力や情報発信力が弱いため、新規取引先の開拓や販路拡大に課題を抱えている。特に初出展の企業等は、出展効果が現れるまで時間を要するため、専門家によるきめ細やかな支援(ハンズオン支援)を行う。	販路開拓支援に係る経費 ・専門家による支援対象企業の抱える課題洗い出し ・専門家による課題解決に向けたアドバイス ・見本市当日同行 ・出展後のフォローアップ(4社)	1,500,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	専門家派遣企業数 4 社	H28.3	4	地方創生に効果があった	事業の継続	支援対象企業に対して行ったアンケート調査によると4社中3社が満足できるものであったと回答しており、今後も継続して事業を実施する。		
6	地域産品ブランド力向上支援事業 【産業振興・雇用推進課】	岡山には、全国的に知名度の高い地域資源があるが、徳社の企業努力にとどまった地域資源ビジネスが多く、付加価値向上が不十分である。よって、地域資源等を有効活用した製品づくりを支援する。	岡山市の地域資源等を有効に活用した製品づくりに対する支援に係る経費 ・全国で地域資源を活かした活性化事業に取り組む専門家による講演会の開催 ※講演会回数1回 ・専門家が支援対象企業を訪問し、直接指導(各社に合わせた新たなブランドイメージ、パッケージの考案等)(5社)	911,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	コーディネータ派遣数 5 社	H28.3	4	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	支援対象企業を食品製造業者に限定していたが、食品関連に限らず広く製造業者に支援対象を拡げ、加えて各企業ニーズに合うよう専門家も2名に増員する。		
7	農業者への販路開拓支援事業(県外版) 【農林水産課】	国内のバイヤーが多数参加する展示商談会である「アグリフードEXPO」(主催 株日本政策金融公庫)に岡山市ブースを設置し、市内の農業者が来場されるバイヤーと商談を行うことにより、市内の農業者に対して首都圏及び関西圏への販路開拓を支援するもの。	展示商談会に参加に要する経費(研修会講師謝礼金、職員出張旅費、消耗品費、食糧費、印刷製本費、通信運賃費、ブース出展料及び備品等使用料)	1,743,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	ブース出展者数 13 社	H28.3	10	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	出展者増に繋がる方を調べて継続する予定。出展者数は指標値を下回ったが、1社あたりの成約額は前年比15.8%を達成するなど、一定の効果を上げているため。		



H28年8月22日開催  
岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議  
検証用資料

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の実施結果に係る検証(案)一覧  
(平成27年度に実施した国の地方創生先行型交付金活用事業)

事業番号	① 交付対象事業の名称	② 交付対象事業の概要	③ 交付対象経費(実績)	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
8	農業者への販路開拓支援事業(県内版) 【農林水産課】	市内の農業者と商工業者との連携を促進していくため、農業者自らが生産した地産産物(加工品を含む)を商工業者にPRし、販路の開拓・拡大や地産産物を活用した加工食品や料理等の新商品開発につながる交流の機会を提供することにより、地産地消を推進し、農業者の振興及び地域経済の活性化を図るもの。 市民が農園や牧場を訪問し、農業者の方々と農作業体験を行いながら農業者と直接会話し、農業者を身近に感じることにより地産地消ツアーを実施し、地産地消の推進を図るもの。 地元産産物の消費拡大に取り組み農業者団体に農業振興対策補助金の交付、直売所マップの作成により、地産地消を推進を図るもの。	・マッチングイベント開催に要する経費(講師謝礼、旅費、消耗品費、チラシ印刷費、会場・備品等使用料) ※マッチングイベント開催回数 1回 ・地産地消体験ツアーに要する経費(講師謝礼、消耗品費、食糧費、通信運搬費、バス増上料) ※体験ツアー開催件数: 4回 ※直売所マップ印刷に要する経費(印刷製本費) ・農業振興対策事業補助金に要する経費(地元産産物の消費拡大に取り組み農業者団体の活動への補助(補助率1/2、上限25万円、2件) ※補助金交付件数 0件	387,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	ブース出展者数	13	社	H28.3	29	地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	指標値は達成したが成約実績が芳しくなかった。地産地消の観点において、市内の農業者の販路拡大を支援する必要があるため。今後、年1回、市民みんなで秋の収穫を祝い農まつり、「おかいやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」を開催するほか、農業者と飲食店のマッチングを行うなど、事業内容を見直して継続する予定。
9	国内・海外プロモーション活動事業 【観光コンベンション推進課】	地域の特色ある歴史資産や魅力ある食文化などの観光資源を活用し、新たな魅力創出を目指して更なる盛り上げの推進や、新たな観光客を地域へ呼び込むための情報発信及び国内、海外におけるプロモーションを積極的に展開するなど、観光誘客を図る。 また、あわせて訪日外国人旅行者がひとり歩きできるように受入体制を整える必要があることから、多言語化した観光案内看板の設置等を行う。	(国内プロモーション) 事業費 45,900千円 ・大都市圏における観光展、商談会、セミナー等への参加等経費 ・広域間遊金協の実施経費 ・web、広告等による情報発信事業に係る経費(海外プロモーション) 事業費 16,000千円 ・東アジア、東南アジアなど海外でのプロモーション活動経費(看板設置等) 事業費 7,100千円 ・多言語化した観光案内看板の設置や書替え等に係る経費 ※看板等設置件数12件(事業費は一般財源含む)	47,300,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	観光客数 外国人旅行者宿泊者 商談数	450 10 62	万人 万人 回	H28.12 H29.3 H28.3	583 12 40	地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	国内において情報の発信等引き続き実施し、海外においても、効果のあるアジア方面へのプロモーションを行っていく。また、平成28年度以降も引き続き看板を増設の方針である。
10	UIJターン希望者のための民間賃貸住宅を活用したお試し住宅提供事業 【移住定住支援室】	UIJターン希望者へ、移住のファーストステップとして活用できる、民間賃貸住宅を活用したお試し住宅を提供し、本市への移住の促進や地域活性化を図る。	・業務委託費 補助金 ※補助金交付件数 14件、 交付金額 3,326,000円	6,566,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	お試し住宅退去後に市内へ居住を開始した世帯の割合	50	%	H28.3	86	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	利用者の約8割が市内に定住しており、今後もより多くの方々にお試し住宅を活用いただき、さらに多くの方々の定住の実現につなげていきたい。
11	UIJターン希望者のための就職・転職活動支援事業 【移住定住支援室】	市内企業への就職・転職活動を行う首都圏在住のUIJターン希望者を対象に、企業面接で発生する旅費の交通費の半額を補助する。また、補助対象者の属性や傾向、合否状況、就職・転職支援に対するニーズ等調査を併せて行う。	・業務委託費 補助金 ※補助金交付件数 8件、 交付金額 118,000円	2,484,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	補助対象者のうち岡山市内の企業へ就職・転職を決めた者の割合	50	%	H28.3	29	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善)	本制度の活用を促進をはかるため、平成28年度からは、航空機利用の方にも利用できるようにした。当該年度実績を踏まえ、事業の存続が廃止か等を決定の方針。
12	UIJターン希望者への移住・定住関連情報発信・提供事業 【移住定住支援室】	昨年11月に開設した本市の移住・定住ポータルサイト「おかいやま生活」及び、同facebookページの周知・PRを図るため、インターネット広告を中心とした情報発信を拡充する。	業務委託費	9,628,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	ポータルサイト訪問数(月間) ポータルサイトページビュー数(月間) facebookページへの「いいね!」件数	30,000 150,000 1,000	件 回 件	H28.3 H28.3 H28.3	9,330 40,623 2,750	地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる	指標①・②の実績値は、当初設定のKPIより大幅に下回っているものの、「岡山市への新しい人の流れをつくる」という市総合戦略の基本目標の数値目標に設定した「転入超過者数」が、平成27年時点で1,355人と最終目標年を前に目標値の1,000人を大きく上回っており(H27年目標値 760人を想定)、本事業を含む移住・定住促進施策は、地方創生に非常に有効であったと認められる。
13	UIJターンを意図した合同就職面接会開催事業 【産業振興・雇用推進課】	地方から東京圏への人口流出などを原因として、地方の人口減少が課題となっており、市内中小企業等の若手人材確保の支援と、大都市圏に就学した地元出身大学生等のUIJターン就職及び市内大学で学んだ学生等の岡山市での就職の促進を目的として、市内中小企業等と新規卒業者等を対象とした合同就職面接会を開催する。	合同就職面接会開催事業の民間への業務委託費	7,029,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	地方創生先行型による合同就職面接会開催回数 参加事業所数/回 参加者数/回 指標②のうち県外参加者/回	2 35 100 30	回 社 人 人	H27.9 H27.9 H27.9 H27.9	2 98 343 146	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	合同就職説明会に、想定した指標より多くの参加があったことから引き続き今後も事業を継続する。

**H28年8月22日開催**  
**岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議**  
**検証用資料**

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の実施結果に係る検証(案)一覧  
 (平成27年度に実施した国の地方創生先行型交付金活用事業)

事業番号	① 交付対象事業の名称	② 交付対象事業の概要	③ 交付対象経費(実績)	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
14	子育てハイク・プレババ応援事業 【地域子育て支援課】	子どもを安心して産み育てることのできる地域づくりに向けて、男性の育児参加に関する意識の高揚を図ることを目的とし、男性の育児参加の時間の増加により、女性の育児負担の軽減・地域活動・社会進出の機会の増加(仕事と家庭の両立)を目指す。	・男性の子育て支援研修開催経費 ※研修開催回数 2回 ・検閲妊婦健診、もく浴の仕方等のスクール開催経費 ※スクール開催回数 1回 ・ハイクの手作り料理教室&イクメン応援講座開催経費 ※研修開催回数 2回	540,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	参加者満足度 参加者の育児参加率	70 70	% %	H28.3 H28.3	87 13	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善) ハイクが育児参加時間を増やすには、本人の育児に対する意欲以外の問題も生じるが、意欲を持つことにより、ママへのねぎらいの気持ちや、家庭での行動の変化が見られた(後追いアンケートより)ことから、今後もハイクの自覚・意欲を高める事業を継続する。また、事業の効果を上げるため、アンケートの意見を参考に研修内容の充実を図る。
15	プレーパーク普及事業 【地域子育て支援課】	地域の公園をフィールドとして、実体験を伴った冒険的で豊かな遊びができる場としてのプレーパーク(以下「プレーパーク」という。)を、NPOなど市民協働により実施するとともに、プレーパークを地域で提供できるプレーリーダーを育成する活動を行うことで、安心して子育てをしやすい地域づくりに向けて環境を整備する。	・プレーパークの開催経費 ・プレーリーダー養成講座の開催経費 ※講座開催回数 10回 ・養成講座受講者等による研修会の開催経費 ※研修会開催回数 1回	6,898,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	プレーパーク開設施設数	9	箇所	H28.3	6	地方創生に効果があった	事業内容の見直し(改善) プレーパーク当日は150人～500人(開催の規模によって異なる)の参加があり、管理できない火を使った遊びや、木片、竹、布などの自然素材を使った遊びなどを楽しむ様子が見られた。開催に関わる地域住民も、様々な遊びのノウハウを習得するとともに、子どもの外遊びの重要性を再認識する機会となった。今後も、外遊びの重要性を広く普及させるとともに、今後は地域住民だけでプレーパークを開催できるよう、人材育成を続ける。
16	保育園防災機能強化事業 【保育・幼児教育課】	地域の保育環境の改善を図り、安心して子育て出来る保育環境づくりを推進するため、保育士の時間的負担軽減による保護者の相談・支援時間の確保や、保護者と連携した避難訓練の実施体制の推進の充実を図る。	園長等が週2回程度本庁に取りに来ている文書・用品等の集配業務の委託化導入経費 災害避難時持出用品袋や避難用手押しバギーの配備及び避難訓練等経費 ・集配業務委託費 8,470千円 ・集配袋購入経費 530千円 ・非常用持出袋等購入経費 1,000千円 ・避難用手押しバギー購入経費 1,800千円 計 11,800千円 (事業費は一般財源含む)	7,624,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	保護者相談・支援対応の実施 訓練等の実施	1,200 65	回 回	H28.3 H28.3	2,239 53	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続 文書集配業務を委託することにより園長等の事務が軽減し保護者相談や支援対応に時間を費やす機会が増え相当程度効果があり、緊急時に備えての避難訓練等は全園で継続して実施していく。
17	都心創生まちづくり積極推進事業 【政策企画課・地域政策担当】	JR岡山駅方面からの城への「ウェルカムゾーン」として位置付けている旧内山下小学校跡地(岡山城西の丸)において、賑わい創出や今後の活用検討の材料とするための活用(ワークショップやイベント等の開催)を行うもの。	・ワークショップやイベント業務委託等に係る経費 ※イベント実施件数: 236件	3,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	旧内山下小学校来訪者	15,000	人	H27.11	17,500	地方創生に相当程度効果があった	事業の継続 本事業による中心市街地の賑わい創出効果を踏まえ、引き続き、新たな文化・芸術をまみ出す場としての活用により、どの程度の利用があるかを検証する。
18	健康関連ソーシャルキャピタル見える化事業 【保健管理課】	本市では若壮年期の運動習慣の低さや、高齢期における体力低下、生活機能低下等、健康・医療の分野に係る地域課題の解決は喫急の課題となっている。 そこで、一過性の対処療法的なものではなく、持続的な効果が継続的に取組になるよう、それぞれの地域の特色をいかにした地域ごとの課題マップを作成し、地域に対する意識と、人と人との絆の深まりによる健康な地域づくりを支援していく。	・ウォーキングマップ作成委託等作成経費	4,519,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	健康づくりに関する活動に取り組む団体の増加	230	団体	H28.3	336	地方創生に非常に効果的であった	追加等更に発展させる 従来、登育委員、養育委員等ヘルスボランティアを中心とした組織団体が各地域で健康づくりの取り組みを行っていた。本事業により小学校区または中学校区で、新たにPTAなどの団体も加わり協力・連携体制を構築することができた。今後は作成したウォーキングマップを活用した健康づくり活動を展開する。

**H28年8月22日開催**  
**岡山市まち・ひと・しごと創生市民会議**  
**検証用資料**

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の実施結果に係る検証(案)一覧  
(平成27年度に実施した国の地方創生先行型交付金活用事業)

事業番号	① 交付対象事業の名称	② 交付対象事業の概要	③ 交付対象経費(実績)	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
													年間相談者数
19	岡山市サテライト移住相談窓口(東京)設置事業 【移住定住支援室】	東京圏等在住の方々に対して、東京での相談対応等にかかるワンストップ機能及び移住支援にかかる情報発信力をさらに強化し、岡山への移住促進を図ることを主な目的とし、東京に「岡山市サテライト移住相談窓口(仮称)」を設置する。	相談員設置費 (臨時職員人件費) ・サテライト窓口設置費用	1,535,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤						地方創生に効果があった	追加等更に発展させる	東京窓口を基点とした、県や県内の他の基礎自治体と連携したイベントやセミナーの東京での開催についても今後検討していく方針。
20	外国人観光客誘客促進事業(仮称) 【観光コンベンション推進課】	2015年5月28日に全国に先駆けて市内表町商店街に免税手続一括カウンターが設置されたことも踏まえ、岡山城・岡山後楽園等を訪れる訪日外国人観光客を中心市街地に誘導し、買い物、飲食等を促し、滞在時間延長、観光消費額の増加を図る。	・免税店や飲食店等の情報を多言語で発信するためのポータルサイトの開設費用 ・ポスター、周遊マップ等作成費用 ・外国人に対する販売接客方法や店舗づくり等のアドバイスを行うための借店への専門講師派遣費用 ※講師派遣者数 5人	7,200,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	岡山県外国人観光客宿泊者数	120,000	人	H28.3	162,344	地方創生に効果があった	事業の継続	引き続き、商店街各店舗、商業エリア等と市が協力するとともに、役割分担を調整しながら、さらなる観光誘客に取り組んでいく。
21	ヘルスケア産業の創出・育成事業 【産業振興・雇用推進課(産業政策課)】	健康で心豊かな暮らしをサポートする機器、サービス、システムなどヘルスケア関連商品を対象とし、異業種交流や消費者ニーズのフィードバック等を通じ、新しい事業の創出や商品開発を目指す。	・おかやま創業支援ネットワーク、大学、関係産業界を集めたセミナーの開催経費 ※セミナー開催回数 1回 ・推進協議会の設立準備経費 ・市内企業を対象にヘルスケア産業に関する意識調査の実施	1,265,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	ヘルスケア関連事業への市融資制度新規利用件数	2	件	H28.3	2	地方創生に効果があった	追加等更に発展させる	H27年度に事業実施したセミナー及び企業対象の意識調査を踏まえ、H28年度に加速化交付金を活用して岡山ヘルスケア産業連携協議会を設立しヘルスケア産業の早期事業化を取り進んでいる。

交付金活用事業の実施結果に係る検証（案）に対するご意見等について

意見番号	事業番号等	「交付金活用事業の実施結果に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
1	2	<p>○情報発信支援事業</p> <p>K P I とは別に、情報発信に取り組んだ企業の具体的成果（例：30 社中 20 社が売上 10% 増、等）を参考に提示できれば、事業の成果がより明確になると考える。可能な範囲でご検討いただきたい。</p>	<p>平成 28 年度末（事業実施 1 年後）を目途に、具体的成果を調査する予定です。</p>
2	5	<p>○販路開拓・ハンズオン支援事業</p> <p>事業番号 2 と同様に企業の具体的成果を参考に提示できれば、より事業の成果が明確になると考えますので、可能な範囲でご検討下さい。</p> <p>また、事業番号 2 と事業番号 5 の対象企業について、同一企業であることは許容されている又は推奨されているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援企業 4 社から、平成 27 年度末現在、商談成立 6 件、見積依頼 16 件、継続交渉等 28 件との成果報告があり、専門家支援の効果が実感できたとの意見を得ています。</li> <li>・同一企業が両事業を活用することは可能であり、必要に応じてそれぞれの事業を紹介します。</li> </ul>
3	10	<p>○U I J ターン希望者のための民間賃貸住宅を活用したお試し住宅提供事業</p> <p>お試し住宅利用者の 86% が市内に定住しているが、定住に結びつかなかった残り 14% についての検証は出来ているか。その理由の検証を行うことで、必要な対策が見えてくるのではないか。</p>	<p>お試し住宅利用の終了時にアンケート調査を実施し、本市定住に結びつかなかった理由の把握に努めています。</p> <p>また、調査結果等により、利用者が必要とする情報の提供や支援等を行い、本市移住に結びつくよう関係部署と連携・協力しながら、この取組を進めています。</p>

意見番号	事業番号等	「交付金活用事業の実施結果に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
4	13	<p>○U I J ターンを意識した合同就職面接会開催事業</p> <p>①就職合同説明会については様々な機関が取り組んでおり、非効率ではないか。まとめたほうが利用者のためにならないか。</p> <p>②多くの参加者があったようだが、実際のマッチング件数は何件か。</p>	<p>①岡山県においても県内企業による同種の合同企業説明会が行われていますが、岡山市内の中小企業等の人材確保支援と、若者の市内就職を支援する上で、市で実施する意義は高いと考えます。</p> <p>②追加調査により、29人の内定者数を把握しています。</p>
5	17	<p>・旧内山下小学校のある地域は岡山城、後樂園に通じており、観光誘客のために重要な地域である。旧内山下小学校の整備は、駐車場となっている NHK 跡地や移転予定の市民会館の活用についても、一体整備に向けた検討が必要ではないか。</p>	<p>・都心創生まちづくり構想を踏まえながら歴史と調和のとれた利用方法を基本として検討する必要があると考えています。</p>
6	18	<p>○健康関連ソーシャルキャピタル見える化事業</p> <p>今後の活動の方向として、地域住民が日常的にウォーキングに取り組む「友の会」のようなものを、一定のエリア毎につくることは考えられないか。</p>	<p>・グループでウォーキングをされるなど、各地区で自主的に取組まれているとお聞きしております。現在、「ええとこ発見図」を用いた、各地域でウォーキング大会の実施や、公民館講座の中での活用を図っています。今後も市民の方々が主体的に健康づくりに取り組むきっかけとなるよう「ええとこ発見図」の周知に努めてまいります。</p>

意見番号	事業番号等	「交付金活用事業の実施結果に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
7	21	<p>○ヘルスケア産業の創出・育成事業</p> <p>①市が考えるヘルスケア関連事業の定義は何か。</p> <p>②市の融資制度を利用した2件の業種及び資金使途は何か。</p>	<p>①健康で心豊かな暮らしをサポートする機器、サービス、システム等、幅広い経済産業分野におけるあらゆる事業及び商品を対象分野としています。</p> <p>②業種はサービス業で、資金使途は運転資金です。</p>
8	10-21	<p>当該事業の多くは、生活という視点からすると全国共通な事業であり、他の政令指定都市との比較が必要と考える。また、こうした比較の中で、岡山市の特徴が見えてくるのではないかと。</p>	<p>本検証は目標値に対する進捗状況を検証するものですが、類似都市との比較も政策・施策を検討する上では重要な手段であると認識しており、今後こういった指標について可能であるかを研究します。</p>
9	19-21	<p>「③交付対象経費(実績)」と「④実績額」の関連性が理解できないため、ご教示を。</p>	<p>③交付対象経費欄に記載しておりましたものは、申請時の総事業費と交付金充当予定額です。これらと④の実績額とを比較された結果、混乱を招いたものと考え、これらの項目を削除しました。</p>

意見番号	事業番号等	「交付金活用事業の実施結果に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
10	該当事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI未達成の項目についての検証は行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業No.2（インターネット動画作成業者数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初年度のため、制度の浸透が十分でなかったと考えます。</li> </ul> </li> <li>○事業No.2（ネット販売・ネット広報に取り組んだ事業者数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初年度のため、制度の浸透が十分でなかったと考えます。</li> </ul> </li> <li>○事業No.3（創業者数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当補助金は、国の産業競争力強化法に基づく、特定創業支援事業（経営、財務、人材育成、販路開拓等の支援事業を4回以上、1ヶ月以上の継続的な支援）を受けた者に絞ったことにより、本格的な申込みが年度後半にずれこみ、補助対象目標数を下回ったものです。</li> </ul> </li> <li>○事業No.6（コーディネーター派遣数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選定した専門家の取組み具合によって、5社から4社に変更したものです。</li> </ul> </li> <li>○事業No.7（ブース出展者数） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規事業であったため、新規ブース出展者の募集の周知が十分でなかったためと考えられますが、継続して事業を実施していくことにより、出展希望者は増加するものと考えています。</li> </ul> </li> </ul>

			<p>○事業No.9（商談数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光誘客の取組として、旅行商品を販売する旅行代理店等を対象とした商談会と海外に向けた観光プロモーションを実施するための国際観光展へのブース出展の2通りがあります。近年のアジアからのインバウンド需要の高まりもあり、国際観光展への出展回数を増やしたためです。</li> </ul> <p>○事業No.11（交通費補助）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のKPIは、補助対象者のうち、市内企業に内定した方の割合ですが、これは市の努力で上昇させることが困難であるため、KPIを「当該事業の利用者数」に見直すことを検討しています。</li> </ul> <p>この新たなKPIを採用した場合には、利用者数を増やすため、会社面接のピーク時前に、東京圏の大学をはじめ、市内合同企業説明会を活用するなど学生に事業の周知を図るとともに、本市に所在する企業へも周知する必要があると考えています。</p>
--	--	--	---



意見番号	事業番号等	「交付金活用事業の実施結果に係る検証（案）」に対するご意見等の概要	市としての考え方
10	該当事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI未達成の項目についての検証は行われているか。</li> </ul>	<p>○事業No.12（ポータルサイト訪問数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポータルサイト関連の3つのKPIは、ポータルサイト開設直後の閲覧ピーク時点に基づき設定したものです。昨年度の実績は、「ポータルサイト訪問数（月間）」につきましては約9,300件にとどまっていますが、当該サイトに訪問された方が、サイト内の様々なページを閲覧した数を示すページビュー数やフェイスブックページへの「いいね！」件数につきましては、目標値を大幅に上回っています。</li> </ul> <p>こうしたことから、現状の移住希望者ニーズを踏まえ、より現実的なKPIになるよう、本ポータルサイト開設時点のピーク状況に基づく現時点の3つのKPIを今後早急に見直す必要があると考えているところです。</p> <p>あわせて、今後も引き続き、ネットにおける、当該ポータルサイトのリスティング広告やユーチューブ広告（両者とも；5月～2月）を粘り強く行うなど、積極的な情報戦略を展開していく予定です。</p> <p>○事業No.14（参加者の育児参加率）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPIは、講座参加者の育児参加率（平日1時間以上）を、受講1か月後にアンケートを行い測定したものの（回答率63%、回答人数24人）です。すぐには働き方や生活習慣を変えるのが難しいと思われるため、半年後再びアンケートを取って検証を行います。また、意識改革を働きかけるよう講</li> </ul>

			<p>座の内容を充実させていきます。(参考：休日の育児参加時間 1 時間以上 70%)</p> <p>○事業No.15 (プレーパーク開設施設数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度は、特に地域への丁寧な事業説明や協働体制の構築が必要であったため、開催箇所が目標に達しませんでした。次年度以降は、最終年度における目標値の達成に向け、前年の開催地区の実施に加え、開催地区の新規開拓により実施箇所を増やしていく予定です。</li> </ul> <p>○事業No.16 (訓練等の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園等 53 園で保護者も参加しての避難訓練等を年 1 回以上想定していましたが、各園 1 回の実施回数となりました。今後も非常時には保護者との連携は不可欠であり、保護者と連携した避難訓練等を継続して実施していく必要があります。(なお、園児のみが対象の避難訓練は毎月実施している。)</li> </ul>
--	--	--	--

## その他のご意見等

意見番号	ご意見等の概要
1	・岡山市に限らず県内全般に言えることだが、第三次産業の占める割合が高い以上、サービス産業の生産性向上に向けた行政の支援は必須なのではないか。
2	・自治体のホームページは、一般的に「知りたい情報が探しにくい」と言われている。ホームページのアクセシビリティが向上するのではないか。
3	・実績から移住定住の観点での費用対効果は非常に高いものと認識します。また、インターネット上でも岡山県への定住希望が多いためか、岡山市の本事業に関する簡単な紹介がある等、認知度も高まっており、今後も積極的な推進を期待します。